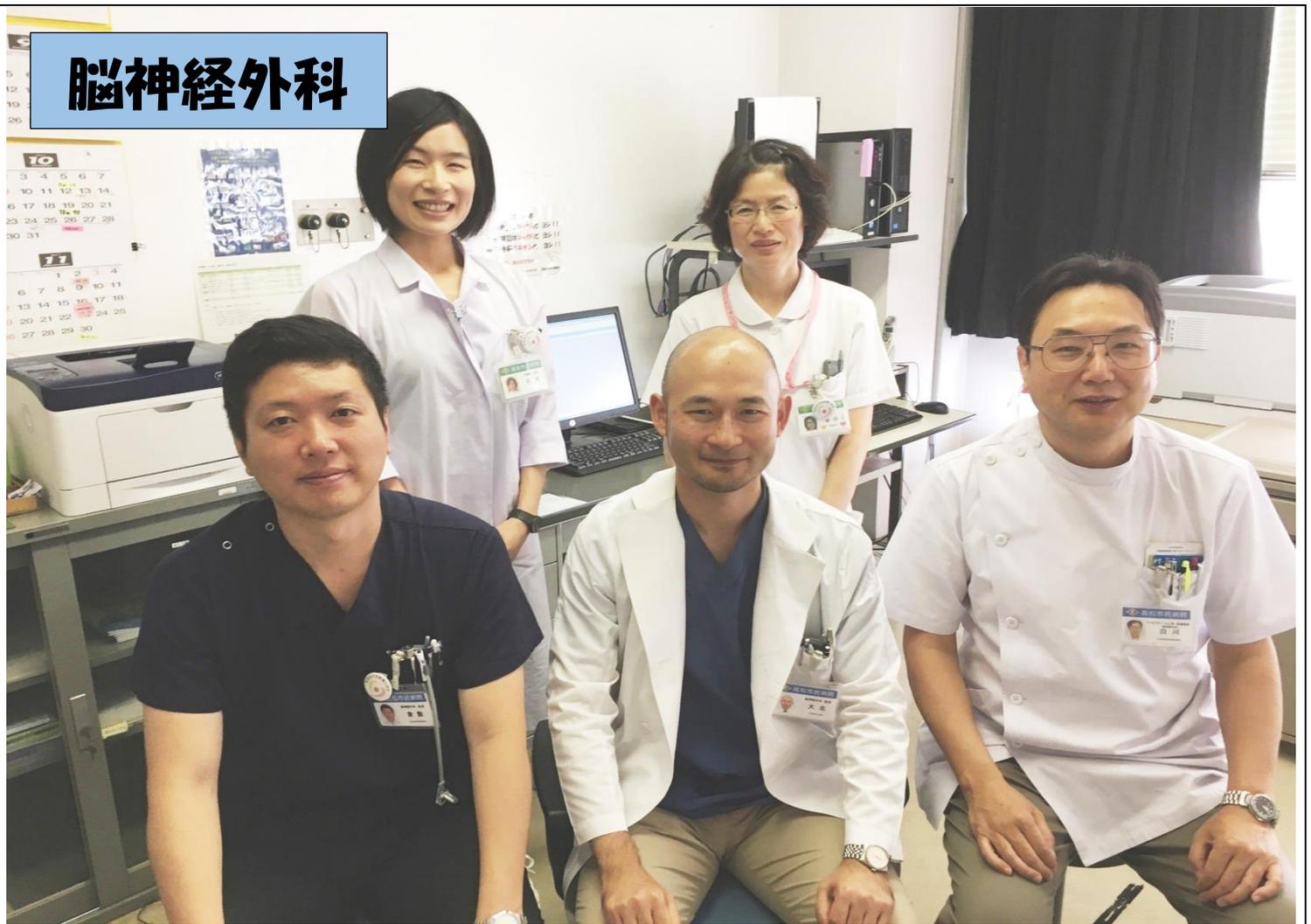


脳神経外科



【紹介】

脳神経外科というとどのようなイメージでしょうか。

病気として浮かんでくるのは脳腫瘍、脳梗塞、脳内出血などでしょうか

テレビをご覧になり、難しく長い手術をするんだなあと思われる方もいるでしょう。

実は、私たち脳神経外科医は「脳」のみならず、全身の「神経」の病気やけがを主に手術で治療しています。整形外科と重なる部分ですが、脊髄神経の病気である首や腰のヘルニアも手術します。また手のしびれの原因となる手根管症候群に対して手首の手術をすることもあります。

もちろん、脳腫瘍、脳内出血、くも膜下出血、急性硬膜下血腫のような命にかかわる脳の病気やケガの治療もします。患者さんは命をかけて治療に臨まれていますので、それにお応えするため私たちも必死に頑張ります。

また、命にかかわらずとも生活の質を落とすような病気もあります。しびれ、ふるえ、痛みなどでお困りの方も多く、手術をして治療することがあります。パーキンソン病やジストニア、痙縮、難治性疼痛などが対象となります。長く症状に苦しんでおられる方も多く、患者さんやご家族の方とよく相談し、それぞれのご要望に沿った治療を実践しています。

手術は長い場合は1日かかる難しいものもありますが、1時間程度で終わる手術もあります。長い手術も集中していると、終わった時にあっという間だったなあ、という感覚になるとことがあります。最近はCTやMRIなど画像診断が発達していること、手術器具の改良に伴い手術の安全性はより高まっています。手術と聞くと怖いと思われるかもしれませんが。患者さんの不安が少なくなるよう私たちは日々トレーニングをし、手術の前にはシミュレーションを行い手術に備えています。当院ではいつでも安心して治療を受けていただけるよう脳神経外科専門医3名が勤務しています。お困りの際はいつでもご相談ください。お待ちしております。

脳神経外科で治療する主な病気

脳卒中：脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、脳腫瘍、水頭症、パーキンソン病、ジストニア、本態性振戦、痙縮、難治性疼痛、てんかん、頸椎症頸髄症、後縦靭帯骨化症、腰椎椎間板ヘルニア、脊髄腫瘍、脊髄髄膜瘤、頭蓋縫合早期癒合症、手根管症候群、肘部管症候群、足根管症候群

脳神経外科を受診されるきっかけ、症状

頭痛、めまい、手足が動かしにくい、手足のしびれ、ふるえ、痛み、物がつかみにくい、字が書きにくい、歩きにくい、もの忘れ、脳ドックでの異常 その他気になる症状で受診されてもかまいません

